

総務委員会

外国人の子供の就学促進に係る予算流用について

企画調整部国際課

1 目的

新型コロナウイルス感染症拡大により、雇い止めなど外国人市民の雇用環境が悪化しており、今後、経済的な問題に起因した不就学児の増加が想定される。こうしたことから、不就学児の増加に対応するため、予算流用し、本市が確立した外国人の子どもの不就学を生まない取組「浜松モデル」の機能を生かした不就学ゼロ作戦事業の拡充を図る。

2 事業内容

- (1) 外国人学校への就学が困難となった不就学児に対し、公立学校への就学手続き等の支援を行う就学支援員の新規スタッフを配置
- (2) 公立学校や外国人学校への就学につなげる役割を果たす就学支援教室利用者の増加に対応するため、就学支援教室を増設

	現行	拡充後
就学支援	※バイリンガルプロパーが兼務	・臨時就学支援員1人（教員OB等）
就学支援教室	2教室 ・佐鳴台教室（中区） ・雄踏教室（西区）	3教室 ・佐鳴台教室（中区） ・雄踏教室（西区） ・新教室（中区） ※市街地を予定

3 流用額・流用先・流用元

流用額：5,538千円

流用先：款 総務費 項 総務管理費 目 国際化推進費
事業 多文化共生推進事業 定住外国人の子供の就学促進事業

流用元：款 総務費 項 総務管理費 目 国際化推進費
事業 多文化共生推進事業 多文化共生のまち発信事業（負担金）

4 流用後の対応

9月補正予算の議決後に、流用元への流用戻しを行う